



「必要な支援の検討」

今、茨城町に必要な支援は…？ さまざまな視点から検討します。

令和5年12月13日(水)「第3回 茨城町少子化・人口減少対策プロジェクトチーム会議」を開催しました。

今回は、少子化・人口減少に関する課題や解決法(支援策)について、前回のグループワークで出たご意見を基に、町の課題を分析し、他市町村の事例等も参考にしながら、必要な支援についてより深く話し合っていました。プロジェクトチーム員のみなさんは、年代・性別・職業などの層が幅広く、さまざまな視点からたくさんのご意見をいただくことができました。グループワークの最後には、必要な支援について各グループで優先順位をつけ、発表していただきました。

本会議も第3回目となり、話し合いの内容もより具体的なものになってまいりました。次回からは、いよいよ新たな施策(案)の検討に入っていきます。

必要な支援の優先順位

1班

順位	課題	解決法・支援策(案)	支援が必要な理由
1	お金がかかる	入学に対する補助・支援金	・経済的負担を軽減するため ・自由に使えた方がありがたい ・他の市町村との差別化を図れる
2	お金がかかる	制服・自転車等にかかる経費削減支援(リサイクル・フリーマーケット)	・子どもたちにSDGsを学ばせる機会になる ・施策として取り組みやすい
3	公共交通機関不足	通学手段の拡充 ・高校生用の巡回バスの整備 ・町直営の巡回型の通学・生活支援バス ・誰もが利用できる交通システムの充実 ・乗合事業(通勤者と通学者が乗合)	・茨城町から通おうという意欲につなげる ・安全な通学路を確保 ・通学難による学校の選択肢を狭めないため
4	広報(茨城町のPR)不足	ホームページの充実 ・子どもの成長に沿って項目を並べてアクセスしやすいようにする ・スマホでも見やすいように工夫	・ライフステージに合わせた必要な情報を手に入りやすくするため
5	広報(茨城町のPR)不足	SNSの強化 ・子育てに対するお知らせをLINE等で周知	・影響力が大きい ・受動的に情報が入る
6	出産・子育て(幼児期)への不安	ファミリーサポートの充実 ・平日夜や休日の在宅・家事代行を可能に ・屋内遊具で遊べるファミリー・サポート・センター	・若い世代が「ファミサポ」という言葉に惹きつけられやすい ・親の子育てに対しての不安を取り除ける ・2人目以降の安心感を与えられる
7	医療	医療費の支援	
7	医療	妊産婦向けタクシーチケット配布	・いざという時に頼れる安心感
7	遊び場の充実	・イオンタウンの空き店舗の活用 ・無料で使用できる室内の遊び場の設置 ・コミュニティセンター・公民館の活用	



2班

順位	課題	解決法・支援策(案)	支援が必要な理由
1	お金がかかる(制服・体操服)	補助、リサイクル	・成長段階で買い替えることでの経済的負担が大きい ・全員が対象で平等な支援となる ・リサイクルにより必要な方への譲渡ができる
2	出産や子育ての支援	ファミリー・サポート・センターの設置	・相談できる場となる ・家事援助を受け、育児負担を軽減できる ・仲間づくりができたり、交流の場となる
3	商業施設の空きスペースの有効活用	遊び場、フリースペースの設置	・気軽に誰もが集える場となる ・空きスペースの有効活用となる
3	産婦人科・小児科がない	産婦人科・小児科の固定資産税等を免除	・病院ができることで、妊娠・出産・子育てを安心して行うことができる ・病院側も建設候補としやすい
3	出産費用	出産費の補助	・一律の出産費との差額を補助(茨城県は出産費が高い)
3	お金がかかる(交通費)	補助	・中学生・高校生の子育ての負担軽減になる
4	お金がかかる(給食費)	小中学校給食費無償化	
4	広報	広報・PRの充実(若者への情報発信)	

